

Procter, Richard Wright

The barber's shop, by Richard Wright Procter, illus. by William Morton and rev. and enl. by William E. A. Axon.

Manchester, Heywood, 1883 (1856) (文献番号 4-28)

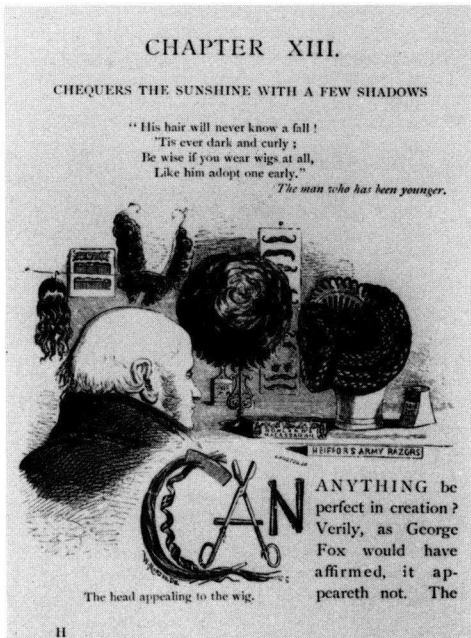
Hiler p. 724.

プロクター著

理髪店

プロクター(1816-1881)は、イギリスの詩人であり、作家で、理髪師として生計をたてながら終生創作活動を続けた。彼はその生涯の大半を過ごしたマンチェスターを愛し、幾つかの作品中に同市の歴史や風俗を取り上げて好評を得た。また、彼の店の一角に設けた貸本文庫に同市に関する図書や同市出身者の著書を収集して加え、他の芸術家仲間と共に郷土文化の啓もう(蒙)に尽力し、マンチェスターの芸術関係の名士として敬愛された。本書の挿絵を手掛けたモートンもそうした仲間の一人であった。

本書は、著者が理髪業を通じて出会った風変りな人物や古今の著名な理髪師などに関する23の小品から成る優れた随筆集である。5枚のエッチングと小口木版の挿絵は、肖像画や19世紀当時の理髪用具、理髪時の光景を描いた珍しいものが多く、風俗史の資料としてもユニークなものになっている。初版は1856年であるが、その後、数年間伝記風のごシップや面白い感想を織り込んだ改訂版を刊行した。本書は、1881年に没した著者に対する追悼文として友人のアクソ



ンによる14頁にわたるプロクターの略伝を付して、1883年に刊行された改訂増補版である。本書に登場する人物は、ギリシア神話その他の文学に登場する架空の人物から、詩人、司教、著者の顧客や奉公先の主人に至るまで実に多彩であり、彼らの興味深いエピソードと著者の博識をたんのう(堪能)することができる。他方、人物描写は、鋭く適確な中に著者の暖かい思いやりが感じられ、各人物の個性が生き生きと表現されている。こうして、全編に流れる控え目なイギリス流ユーモアと詩的香りの高いせいち(精緻)な文章は、味わい深い好エッセーになっている。

図は、第13章のかつらに関するエッセーの挿絵である。